



いわて連携復興センターとは？

いわての中間支援NPOが集まり、沿岸部の復興に向け、全国からの様々な支援と、自立・復興のためにその支援を必要とする人を結びとともに、必要な情報・技術を提供し、被災された方が前向きに地域復興に向け、進まれることを目的として活動し、東日本大震災で被災された地域、コミュニティが、自らの意思によって復興し、被災前のようなつながりが、にぎわい、ふれあいを取り戻すお手伝いをする団体です。

新しい公共とは？

経済社会が成熟するにつれ、個人の価値観は多様化し、行政の一元的判断に基づく上からの公益の実施では、社会のニーズが満たされなくなってきました。

そして現在、官民の役割分担の見直しが行われ、民間企業や個人と並んでNPOなどの民間セクターが重要な役割を担いつつあります。

これまでの行政により独占的に担われてきた「公共」を、これからは市民・事業者・行政の協働によって「公共」を実現しなければなりません。これが「新しい公共」の考えです。（「新しい公共」ポータルサイトを参照）

中間支援NPOとは？

中間支援NPOとは、NPOを支援するNPOと位置付けられ、資金、人材、情報などの資源提供者とNPOを仲介し、NPOの育成に関わる一方、行政、企業、個人などの資源提供者向けにサービスすることもあります。

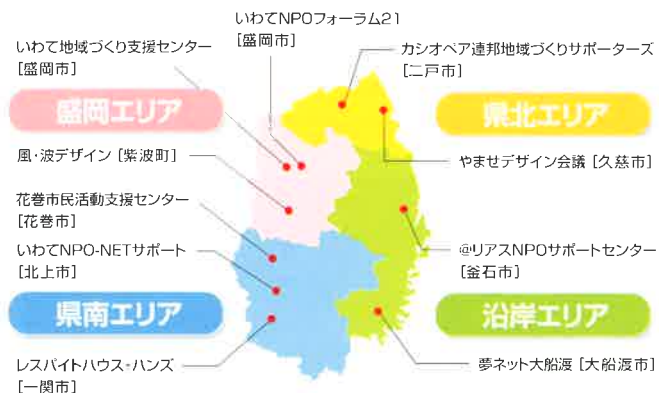
また、個々のNPOが抱える問題などを、NPO同士が様々なレベルでネットワークを組み解決を図るという取組みを促進する役割を担っています。

さらには、NPOに対するニーズを把握したり、社会的課題について、社会全体に訴え共有化し、新たな問題解決方法なども創出しています。（内閣府HPを参照）

特定非営利活動法人 いわて連携復興センター

設立時構成団体

- NPO法人 アットマーククリアスNPOサポートセンター（釜石市）
- NPO法人 レスパイトハウス・ハンズ（一関市）
- NPO法人 やませデザイン会議（久慈市）
- NPO法人 夢ネット大船渡（大船渡市）
- NPO法人 いわて地域づくり支援センター（盛岡市）
- NPO法人 風・波デザイン（紫波町）
- NPO法人 いわてNPO-NETサポート（北上市）
- NPO法人 花巻市民活動支援センター（花巻市）
- NPO法人 カシオペア連邦地域づくりサポーターズ（二戸市）
- NPO法人 いわてNPOフォーラム21（盛岡市）



特定非営利活動法人いわて連携復興センターでは私たちの活動に賛同して下さる方を募集しています。

正会員	年会費（個人）	3,000円
	年会費（団体）	10,000円
協力会員	年会費	3,000円
賛助会員	— 口	1,000円（一口以上）

【会費・ご寄附振込先】 岩手銀行 北上駅前支店 普通 2031570
特定非営利活動法人 いわて連携復興センター

会員申込みまたはご寄附の際、いわて連携復興センターまでご一報いただけますと、領収書等を発行させていただきます。

●活動内容のご案内

特定非営利活動法人

いわて 連携復興 センター

IWATE Fukkou Collaboration Center

みんなのために、みんなができること。
住民が主役の復興を。

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

〒024-0061
岩手県北上市大通り1丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ4階
TEL:0197-72-6200 FAX:0197-72-6201
E-mail:info@ifc.jp [登記：釜石市]

ホームページ <http://www.ifc.jp>

いわて連携復興センター 検索

いわて連携復興センターの活動①

行政・NPO・企業等との連携の場を設定

①行政・NPO・企業等との定例ミーティング

行政や、支援に入っている県内のNPO・社協・企業等と情報交換を定期的に行い、被災地が今必要としている支援や課題について協議を行っています。また、宮城・福島でも組織された連携復興センターと毎月定例会議を実施しています。

②県内外の支援団体と連携の場を設定

復興支援活動を行う全国規模のネットワーク組織や、多くのNPO・NGOとつながりを持つ団体と全県的な会議を開催し、岩手県内外から集まる支援団体同士の連携や情報共有の場を創出しています。



POINT

連携の場を創出し、支援団体の同士の横のつながりや、行政の施策を共有する機会を作ることによって、被災地における課題の共有や、共通の理解を深めることができます。

いわて連携復興センターの活動②

中間支援 NPOとしての活動

①支援と被災地をつなぐマッチング

企業や県外の支援団体など支援を考えている側と、被災地で活動する支援を求めている団体の間に立ち、これまでのネットワークを生かしたマッチングやコーディネートを行っています。

②団体運営・設立支援

主に震災後に設立された団体の運営基盤の強化を目指した各種講座やプログラムを県外の団体と連携しながら行っています。また、任意団体からNPO法人までの流れや経理・労務などのNPO法人事務についてアドバイスを行っています。



POINT

いわて連携復興センターは震災前から繋がりのある県内の中間支援NPOが集まり組織されたNPO法人です。既存のネットワークやこれまで培ったノウハウを生かし、団体の運営支援や基盤強化プログラムを実施しています。

いわて連携復興センターの活動③

様々な協働事業

①社会起業家育成支援

復興支援活動をはじめ、社会的課題を自らの手で解決したいと立ち上がる起業家を支援するため、岩手県内外の社会起業家・起業支援団体と連携し、情報交換やノウハウ提供の場づくりを行っています。

②新しい公共支援事業

平成23年度・平成24年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業を、岩手県復興局生活再建課とともに、「岩手県連携復興会議」として実施。行政・NPOの協働による支援体制が構築されました。

③3県連携復興センターの活動

岩手・宮城・福島の3県の連携復興センターでは、随時情報の共有や今後の支援の形を協議する場を設けています。3県が繋がっているメリットを活かし、共同宣言や行政への政策提言など県境を越えた取り組みを行っています。（設立時期・組織形態はそれぞれ違いますが、3県に連携復興センターが設立されています。）



POINT

NPOや公益法人、市民活動団体との関わりだけでなく、企業や行政、大学など様々なセクターと連携を図り、被災地における課題解決やモデル事業を協働で行っています。

特定非営利活動法人 **いわて連携復興センター** は被災地と岩手県内外の **支援団体** を繋ぐ役割を担っています。